

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
福岡医療専門学校	平成12年4月1日	藤瀬 武	〒814-0005 福岡県福岡市早良区祖原3番1号 (電話) 092-833-6120				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 福岡医療学院	平成11年4月1日	理事長 藤瀬 武	〒814-0005 福岡県福岡市早良区祖原3番1号 (電話) 092-833-6120				
目的	多様な患者ニーズに対し、東洋医学と西洋医学の両面からアプローチできる専門的な知識、技能、コミュニケーション能力および豊かな人間性を持った鍼灸師を育成する。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	鍼灸科	平成22年文部科学大臣 告示153号	-			
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2430	1622	160	90	0	766
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
180 人	136 人	10 人	19 人	29 人			
学期制度	■1学期：4月 1日～ 7月31日 ■2学期：8月 1日～12月31日 ■3学期：1月 1日～ 3月31日		成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料(定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等)に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。			
長期休み	■学年始：4月 1日～ 4月 3日 ■夏 季：7月30日～ 8月28日 ■冬 季：12月23日～ 1月 9日 ■学年末：3月18日～ 3月31日		卒業・進級条件	学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。			
生徒指導	■クラス担任制： 有 ■長期欠席者への指導等の対応 日々の出席状況をクラス担任が把握し、欠席が続く者には保護者へ連絡し、長期欠席にならないように取り組んでいる。 付属クリニックにおける専門医の相談の場を設けている。		課外活動	■課外活動の種類 ① トレーナー活動 全国高等学校野球選手権福岡大会・全国高等学校総合体育大会・全国選抜高校テニス大会・高校部活動・高校体育祭・九州管区内警察柔道・剣道大会・福岡矯正管区管内矯正職員武道選手権大会・専門学校体育大会等 ② 部活動 女子陸上競技部・バドミントン部・サッカー部・硬式テニス部・ソフトテニス部・バスケットボール部・バレーボール部・野球部・ソフトボール部・剣道部・柔道部・総合運動部・卓球部・少林寺拳法部・軽音楽奏楽部・東洋医学研究部・ヘルス&ビューティ部等 ③ ボランティア活動 下関海響マラソンクールダウン等			

			■サークル活動： 有
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 あんぬクリニック、F.C.C.築地鍼灸整骨院、オスカー整骨院、介生グループ(エステティックサロンQT)、株式会社ArTra(ほねつぎ鍼灸整骨院)、株式会社ほねごり、きりん整骨はりきゅう院、久留米接骨院、ケイ・トレーナーズ(きよた鍼灸院)、恵心堂、コマーシャルモールはり灸整骨院、坂田鍼灸整骨院、サザン整骨院、タケダスポーツクリニック、NIDOM、はりきゅう小田原治療室、はるか鍼灸整骨院、東比恵はりきゅう整骨院、Be-fine鍼灸整骨院、福岡東鍼灸整骨院、松山整骨院、みのる整骨院、三好整骨鍼灸院、武蔵鍼灸整骨院(福重店)、(有)サポート、祐生堂はり灸マッサージ院、りきたけ整骨院、ロコハ鍼灸整骨院等 ■就職率※1 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 84.4 % (平成 27 年度卒業者に関する平成28年7月1日 時点の情報)	主な資格・検定等 はり師・きゅう師国家試験受験資格	
中途退学 の現状	■中途退学者 11 名 平成27年4月1日 在学者 146 名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 135 名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的事由 成績不良 ■中退防止のための取組 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し補充指導等とおして、きめ細やかなサポートを継続している。		
ホームページ	URL: http://www.jusei.ac.jp/		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程編成委員には、以下の両方または何れかの条件を満たす者を選定している。

1. 業界団体に所属し、要職に就いている有識者

2. 現場を指揮し、医療の最先端で活躍している院長や所属の長

このような業界全体の動向、実務に関する知識や技術に関する知見を有する委員からの要請等を教育課程編成委員会にて協議していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年7月1日現在

名 前	所 属
藤瀬 武	福岡医療専門学校 校長
谷口 邦久	福岡医療専門学校 副校長
滝沢 裕子	福岡医療専門学校 会計課長
柿木 邦友	福岡医療専門学校 鍼灸科 学科長
田畑 真一	経絡治療学会福岡部会 部会長・鍼灸葉月堂 院長
村橋 直	直進堂はりきゅう院 院長

(開催日時)

第1回 平成28年 6月11日 15:00～17:00

第2回 平成28年 11月12日 15:00～17:00(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

教育内容に関連して生徒の鍼灸実技能力や身体の東洋医学的、西洋医学的な診察法及び考察法の能力を向上させるために、教員養成機関の卒業生等で臨床経験が豊富、加えて校内の実習施設や設備等が活用できる講師を選定する。

校内の実習の実施にあたり、年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価が行える講師を派遣することが可能な企業を選定している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
鍼灸実技Ⅲ	鍼灸の基礎知識、現在使用されている鍼灸道具の構造と働きについて学び、鍼灸道具を用いて基本手技を修得する。また、鍼灸を行うにあたり衛生的取り扱いや感染防止の方法、鍼灸治療において起りうる過誤や副作用を学び適切な鍼灸施術の方法を修得する。	高山鍼灸治療院
鍼灸実技Ⅴ	東洋医学の診察技術を学び、随証療法として各種治療技術を修得する。各々の診察方法の考え方を理解して臨床応用ができるようになるために、微妙な体表変化を診て、触知できるように練習をする。	鍼灸葉月堂
鍼灸実技Ⅶ	東洋医学的鍼灸実技、診察法(脈診、腹診、切診)、正確な四診技術を修得するとともに、随証療法の応用ができる能力を修得する。	鍼灸葉月堂

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校は、教員が学生に対し、社会のニーズに応えることのできる即戦力及び臨床能力の高い医療技術者を育てるために、より職業実

実践的な教育をすることを目的に掲げている。

この目的を達成するためには、教員の資質向上は必須の条件となる。そこで、次に掲げた事項を進めることにより、教員の資質向上の支援を行っている。

1. 研修規程を定めて、計画的かつ継続的な研修受講を支援する。
2. 本校付属臨床施設(福岡医療学院整骨院・福岡医療学院鍼灸院・福岡医療クリニック)での臨床経験を積むことにより、実際の現場での知識・技術の修得をすすめる。
3. 外部機関(学会・研究会・研修等)に対して会場提供を積極的に行い、様々な分野での知識修得を奨励する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年7月1日現在

名 前	所 属
北原 孝子	朝日ホーム有限会社 顧問
下迫 勇夫	福岡市立福岡西陵高等学校 元校長
上野 啓介	うえの整骨院 院長 6期卒業生
牛尾 健介	はり灸整骨院地球の唄 院長
木下 健一郎	有限会社ひかり 代表取締役
松山 基光	松山整骨院 院長
山中 知愛	医療法人西福岡病院 放射線科 科長
池田 悦子	医療法人社団正樹会 佐田整形外科病院 副院長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html](http://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html](http://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html)

授業科目等の概要

(医療専門課程 鍼灸科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			心理学	患者等の心理をより深く認識するとともに、心理面でのサポートをするための知識を身につける。	1 ①	30	2	○			○			○	
○			表現法Ⅰ	手紙や公文書、レポートの作成、敬語、日本語等について学び、円滑な人間関係の構築を実現するための基盤としての表現力の基礎を身につける。	1 通	30	2	○			○			○	
○			表現法Ⅱ	対話、応対及び説明、文書作成などTPOにあった表現法の基礎を身につける。	2 通	30	2	○			○			○	
○			社会学	生命倫理、人権とその尊厳について学び、社会集団とその発達・課題について理解を深めることをとおして、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を学び、社会人としての資質を身につける。	1 ①	30	2	○			○			○	
○			生物	からだの化学的構成の学習をとおして科学的・理論的思考力を育て、人体の機能を統計立てて理解できる能力を身につける。	1 ①	15	1	○			○			○	
○			保健体育	自ら体力の向上と把握に務め、健康管理と安全教育の徹底を行うとともに、自主自立の精神を身につける。	1 ②③	30	1			○	○			○	
○			外国語	医療に関する英語を学習することをとおして、国際化及び情報化社会に対応できる能力を身につけるとともに、医療人として必要な専門的知識を英語で理解できる能力を身につける。	1 通 2 通	60	4	○			○			○	
○			解剖学Ⅰ	主として、解剖学概説、骨格、筋、脈管、体表解剖の学習をとおして、人体の構造と機能および心身の発達を系統立てて理解できる能力を身につける。	1 ①② 3 ①②	90	3	○			○		○	○	
○			解剖学Ⅱ	主として、細胞、組織、内分泌、内臓、神経、感覚器、映像解剖の学習をとおして、人体の構造と機能および心身の発達を系統立てて理解できる能力を身につける。	1 通 3 ①②	90	3	○			○		○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			生理学Ⅰ	主として、基礎、血液、循環、呼吸、消化吸収、栄養代謝、体温、尿、生殖等について学習することとおして、身体に起こる化学的変化を生理学として捉え、理解する能力を身につける。	1 ①② 3 ①②	90	3	○			○		○	○	
○			生理学Ⅱ	主として、内分泌、骨、体液、筋肉、神経、感覚を学習することとおして、身体に起こる化学的変化を生理学として捉え、理解する能力を身につける。	1 通 3 ①②	90	3	○			○		○	○	
○			運動学	力学基礎や上肢・下肢・体幹の運動について学ぶこととおして、動作や行為を論理的に説明する能力を修得する。	2 ①②	45	1	○			○		○		
○			病理学概論	総論・各論と基礎病変をとおしてそれぞれの定義を正確に習得する。	2 ①②	60	2	○			○			○	
○			臨床医学総論	患者等が抱えている精神のおよび肉体的な異常を把握するための基本診察方法・検査法、また症状別の診察法、治療方法を習得する。	2 通	60	2	○			○		○		
○			臨床医学各論Ⅰ	各科疾患の概念、定義、原因、症状、検査、治療、予後等を学び、その疾患への対応の重要性を認識する。	2 通	60	2	○			○		○		
○			臨床医学各論Ⅱ	各科疾患の概念、定義、原因、症状、検査、治療、予後等を学び、臨床医学を現場で発揮できる能力を修得する。	3 ①②	60	2	○			○		○		
○			衛生学・公衆衛生学	疾病予防と健康の保持・増進のために行われる家庭・学校・職場・地域社会において、生活環境、食事と栄養、活動と休養及び関連する法律・制度と施設・機関などについて習得する。	1 ①②	60	2	○			○			○	
○			リハビリテーション医学	リハビリテーションの適応疾患について概略を知り、評価、治療の指針についての基礎知識を身につける。	2 ①②	60	2	○			○			○	
○			医療概論	病、医療、医学の定義を学び、西洋医学、東洋医学の変遷を認識することにより、現代医学の課題、医療制度、医療倫理について習得する。	1 ①③	30	1	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律、医事法規と医療制度を習得する。	1 ② 3 ①	30	1	○			○		○		
○			鍼灸理論	鍼術、灸術の定義、鍼の基礎知識、刺鍼の方式と術式、灸の基礎知識、灸術の種類などを学び、鍼灸治療の特徴を現代科学をとおして理解し、鍼灸の基礎、一般治効理論を習得する。	2 ①② 3 ①②	90	3	○			○		○		
○			東洋医学概論Ⅰ	東洋医学の基になる東洋思想である陰陽論、五行学説等を学び、東洋医学理論に基づく人体の生理観、疾病観を習得する。	1 通	60	2	○			○		○		
○			東洋医学概論Ⅱ	東洋医学の生理観、疾病観を基に、症状、所見を望診、聞診、問診、切診という四診を通して病態を理解し、弁証を行い、治療原則に基づく随証治療の方法、弁証論治を修得する。	2 ①②	60	2	○			○		○		
○			経絡経穴概論Ⅰ	経絡経穴の構造を学び、正経十二経脈の流注を理解し、各経脈上にある経穴の位置や名前の意味等を理解するとともに経絡経穴の働きを習得する。	1 通	60	2	○			○		○		
○			経絡経穴概論Ⅱ	経穴の特性から鍼灸治療にどのように使用されるのかその運用法を学ぶとともに、経絡経穴と骨、筋肉、神経、動脈等の解剖学的関係を修得する。	2 ①②	60	2	○			○		○		
○			東洋医学臨床論Ⅰ	現代医学の考え方にに基づき、身体疾患に対する診察、検査法を通して鍼灸施術に適合、不適合の鑑別を行い、治療法等を習得する。	2 通	60	2	○			○		○		
○			東洋医学臨床論Ⅱ	東洋医学の考え方にに基づき、各種身体疾患の症状所見を理解し、東洋医学の診断、弁証と治療原則に沿った治療である論治を修得する。	2 通	60	2	○			○		○		
○			東洋医学臨床論Ⅲ	各種身体疾患に対して現代医学的考え方や東洋医学的考え方による鍼灸施術の特徴を理解し、各種疾患に応用する方法を修得する。	3 ①②	60	2	○			○		○		
○			社会鍼灸学Ⅰ	地域で期待されるはり師、きゅう師の業務、現代社会におけるはり師、きゅう師の役割、施術所の経営展開などを習得する。	3 ①	30	1	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会鍼灸学Ⅱ	社会的ニーズとはり師、きゅう師の役割、医療制度の現状、社会保障制度下におけるはり、きゅう治療などを修得する。	3 ①②	30	1	○			○		○		
○			鍼灸実技Ⅰ	鍼灸の清潔操作を学び、はり基礎実技(銀鍼)、きゅう基礎実技を学ぶとともに、全身の経穴に刺鍼、施灸できるように実技演習を行う。	1 通	60	2			○	○		○		
○			鍼灸実技Ⅱ	鍼灸の清潔操作を学び、はり基礎実技(銀鍼)、きゅう基礎実技を学ぶとともに、あん摩マッサージ指圧実技、体表解剖観察を行う。	1 通	60	2			○	○		○		
○			鍼灸実技Ⅲ	鍼灸の基礎知識、現在使用されている鍼灸道具の構造と働きについて学び、鍼灸道具を用いて基本手技を修得する。また、鍼灸を行うにあたり衛生的取り扱いや感染防止の方法、鍼灸治療において起りうる過誤や副作用を学び適切な鍼灸施術の方法を修得する。	1 ②③	60	2			○	○		○	○	○
○			鍼灸実技Ⅳ	現代医学的視点に基づく鍼灸治療を学ぶとともに、疼痛や運動機能障害を解剖・生理学的に整理し、原因と推測される組織に対するアプローチを行う。五大疾患といわれる病態に対する診察、検査法及び治療法を修得する。	2 ①②	60	2			○	○		○		
○			鍼灸実技Ⅴ	東洋医学の診察技術を学び、随証療法として各種治療技術を修得する。各々の診察方法の考え方を理解して臨床応用ができるようになるために、微妙な体表変化を診て、触知できるように練習をする。	2 ①②	60	2			○	○		○	○	○
○			鍼灸実技Ⅵ	現代医学的鍼灸技術を中心に各種疾患に対する検査法、治療法を学び、臨床応用の方法を修得するとともに、医療面接、診療記録の書き方などを実技をとおして修得する。	3 ①②	60	2			○	○		○		
○			鍼灸実技Ⅶ	東洋医学的鍼灸実技、診察法(脈診、腹診、切診)、正確な四診技術を修得するとともに、随証療法の応用ができる能力を修得する。	3 ①②	60	2			○	○		○	○	○
○			臨床実習Ⅰ	患者等に対する接遇、医療面接、治療方法等臨床に必要なことを、治療体験等をとおして学ぶとともに、受付業務や医療面接をとおして患者等とのコミュニケーション能力及び診療記録の記入能力を修得する。	2 ③	45	1			○	○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			臨床実習Ⅱ	講師の指示のもと患者に対する鍼灸施術の体験をとおして鍼灸の臨床治療を学ぶとともに、鍼灸施術所において患者の接遇、鍼灸治療、施術所の運営などについて学習を深める。	3 ②	45	1			○	○		○		
○			総合領域	各科目の国家試験対策を行う。1・2年次に習得した知識を再確認させ、基礎問題から応用問題に至るまで幅広い知識と応用力を身に付ける。	3 通	300	10	○	○		○		○	○	
		○	HR<進学解剖>	解剖の総復習をとおして、基礎知識を習得するとともに、解剖学の学習方法を学び、解剖学に取り組む態度を身につける。	2 ③	16			○		○		○		
		○	HR<進学生理>	生理の総復習をとおして、基礎知識を習得するとともに、生理学の学習方法を学び、生理学に取り組む態度を身につける。	2 ③	16			○		○		○		
		○	HR<進実>	臨床実習を向かえるにあたり、解剖学、生理学の基礎を復習し、患者の病態把握に結び付ける知識の習得を行う。	2 ③	16			○		○		○		
合計			40科目			2430単位時間(			86単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年末・各学期末に行う試験・実習の成果・履修状況等を総合的に勘案し行う。 出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないとする。		1 学年の学期区分	3期
		1 学期の授業期間	13週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。